

「長野県公営企業経営戦略」改定について（委員からのご意見等）

【計画期間：平成28年度～令和7年度】

R1.11月末現在

○電気事業関係

委員名 【敬称略】	ご意見・ご質問 等	方向性 等
白鳥 孝	地域内の再生可能エネルギーを地産地消し、地域の低炭素化と地域経済の活性化の好循環を生み出す地域新電力をはじめとする地元電力事業者への売電について検討をお願いします。	○ 令和2年度の売電契約については、経営の安定、地域への貢献及び大都市との連携を評価項目として令和元年12月にプロポーザルを実施し、契約事業者を決定しました。令和3年度以降についても、引き続き、経営の安定を前提としつつ、再生可能エネルギーの普及拡大に向け、電気の地産地消を含めて取り組めるような売電方法について、改めて検討してまいります。
白鳥 孝	大規模災害時における発電所からの電力供給により、災害時に機能を失わない地域が実現できることに大きな期待を寄せます。 そのために、災害時等における発電所の近隣公共施設（災害対策施設）への自営線による給電や、市民への給電（携帯電話充電、EV充電等）する仕組みの構築をお願いします。 さらには、地域マイクログリッドの実現に向けた検討をお願いします。	○ 最近の災害による広域、長期の停電に対する対策の重要性を改めて認識したところです。 ○ 水力発電は、自立運転機能を付加すれば、燃料補給が不要な長期停電に対応可能な優れた自家発電としての活用が可能となります。 ○ 従って、今後は、この自立運転機能を付加する取組を進めるとともに、災害時における地域電源としての活用については、法律上の課題への対応を含め、積極的に実現できるよう努めてまいります。
白鳥 孝	耐震化だけでなく、水害・土砂災害にも考慮した大規模改修を望みます。	○ これまでは、施設の耐震化を主眼に対策を進め、管理する3つのダムについては、耐震性能照査を平成29年度に終了し、耐震性を確保しております。また、発電所についても、西天竜発電所の大規模改修工事の令和2年度完了により、全ての耐震性が確保されることとなります。 ○ 今後の大規模改修につきましては、ご指摘の点を踏まえ、風水害対策などの視点に留意しながら、施設機能の維持・向上を目指し、計画的に進めてまいります。
加藤恵美子	耐震性の調査を完了させるとともに、今回の様な大雨時にも耐えられるように改めて調査をして、安心を与えられるようにお願いします。	

○水道事業関係

委員名 【敬称略】	ご意見・ご質問 等	方向性 等
加藤恵美子	【質問】 今回の災害において、各種研修会などを通じて横のつながりができたことでよかったこと、また課題等がありますか？	○ 研修会等の開催による成果（よかったこと） ◆ 実務研修会等を通じて市町村等との「顔の見える関係」を構築できつつあることが成果として挙げられます。 ◆ 具体的には、今回（台風第19号）の災害に係る被災市町村（長野市、佐久市、佐久穂町、川上村）からの要請に対し、①知事部局との迅速な連携による人的・物的支援を実施できたこと、②応急復旧相談に対する迅速な技術的支援ができたこと、③被災者支援のための減免制度を関係市町村との連携により迅速に構築できたこと、などが挙げられます。 ○ 「顔の見える関係づくり」を進める上での課題 ◆ 実務研修会等の開催は、「顔の見える関係づくり」に効果的なものとなりますが、南北に長く、かつ小規模町村が多い本県においては、開催場所と開催回数に配慮しないと、市町村からの参加機会を得られないという面があります。 ◆ 当該研修会等については、現在、関係機関・団体の協力をいただきながら企業局の職員が中心となり実施していますが、今後、継続的に進めていくためには、知事部局との連携による「実施体制づくり」を構築していくことが必要と考えています。

○企業局全体関係

委員名 【敬称略】	ご意見・ご質問 等	方向性 等
加藤恵美子	時代に合ったことをどんどん取り組んでもらって、先を行く企業局になるよう、応援しています。	○ 再生可能エネルギーの普及拡大や、持続可能な水道事業の推進体制の構築、先端技術の活用による「しごと改革・働き方改革」、戦略的な情報発信など、時代の要請を踏まえた新たな取組について積極的に推進してまいります。